

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274200639		
法人名	有限会社 エムサービス		
事業所名	グループホームやよい苑(1階)		
所在地	静岡県静岡市駿河区登呂4丁目27-29		
自己評価作成日	令和5年10月26日	評価結果市町村受理日	令和6年12月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_022_kan=true&jirvosyoCd=2274200639-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和5年11月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・登呂遺跡公園が目の前にあり、とても環境が良く、地域資源に非常に恵まれたグループホームです。
 ・職員教育に力を入れており、資格取得・研修などでスキルアップを図り、地域に貢献できるグループホームを目指しています。
 ・専門コンサルタントを立て、職員の意見収集、労働環境、税務の整備を行い事業所の安定を図っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念に沿った想いを共有する介護を実践するために、より多くの経験者をもつ経験者を採用することに重きを置く事業所です。さらに資格取得・研修でスキルアップを図り、費用も事業所が負担する徹底ぶりです。そういったことが下支えとなり、例えば帰宅願望が収まらない利用者には家族の協力を仰ぎ、仕事帰りに電話を入れてもらい、週末には自宅に帰ることも実現していて、総じて本人の想いを大切にすることが叶っています。管理者は「事業所は家族からハトタッチしたわけではない。二人三脚だと思っている」との信念をもって、家族の協力や理解があってこそケアサービスも充実するとの謙虚な姿勢に好感が沸きます

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社員証に記載しています。また施設玄関にて理念を掲示し共有を図っています。会議などでも理念の基本を話しています。ユニット会議の資料にも理念を記載し意識して貰える様にしています。	毎月のリーダー会議の資料に理念を刷り込み、会議で挙げた内容を理念に照らして検討することが慣習と成っています。理念通りにはいかないことが時にはあるも、職員間で考えて話し合うことで理念に立ち返ることに実っています	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	登呂公園の散歩が主ですが、運営会や登呂祭りを含めた地域との交流をしております。今年から登呂祭りも再開し市場も出しました。	地域の一人として町内会費を納めています。事業所ということで町内会には入れませんが、今年度9月から参会による運営推進会議が再開され、その折にも町内会長と民生委員の参加があり、また近隣からの入居希望も入っています	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営会議を中心として情報発信をしています。民生委員・町内役員・地域包括等と意見交換を行い、認知症や介護の考え方や、やよい苑の現状を発信しました。登呂祭りでは利用者と一緒に果物を販売しました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議も7月より対面会議を再開し取り組みの報告や話し合いを行いました。	コロナ禍においては書面開催として、活動状況や利用者の現状をメンバーへ届けていました。9月から以前のように顔をあわせての話し合いが叶い、地域の高齢者情報も届いています。運営に活かすとともに、事業所が役立てることも伝えていきます	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営会議を通して地域包括の方と連携をとる事により、市との連携を図っています。又、必要に応じて生活支援課、介護保健課、社会福祉協議会に相談や助言を頂く事があります。	生活保護受給者の入居は5名となり、市役所の担当職員に相談するとともに、来訪時にも助言を得ています。市からの配信メールは必ず確認しており、介護保険制度に係る改正や、緊急の災害情報・感染症情報を職員に周知しています	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止マニュアルを基本として身体拘束適正化委員会を実施し身体拘束の防止に努めています。	3ヶ月に一度の身体拘束廃止委員会、研修開催を通じて三原則をはじめとする諸知識について確認しています。また、居室毎に異なる音楽のセンサーを導入で転倒を未然に防ぐことに実るなど、実践も確かです。さらに事案があれば、カンファレンスで協議、判断する体制を整えてもいます	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の講習内容を職員に情報提供する事により、虐待防止徹底を図っています。個別面接等も行いながら、職員のメンタルケアを合わせて行います。(未実施)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護と成年後見人制度について、講習内容を職員に情報提供する事により教育しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約業務は、管理者及び事務長が対応し利用者の御家族にご理解・納得して頂けるように説明いたします。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成時及び運営会での意見やアンケートを、運営会や各ユニット会議に反映させていましたが、現在全体運営会は、中止となっています。またコロナの感染対策の為、電話やメールで家族の意見やお気持ちを聞ける機会を作っています。	ユニット毎に作成する「やよい苑便り」のなかには利用者の1ヶ月の様子を綴り、家族からはそれを見ての連絡が入ることも少なくありませんが、介護計画の更新時や電話やメールで意見收受して、双方向のやりとりがあります	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会議やユニット会議で職員の意見や提案を聞き運営に反映させています。その他個別面談に於いて、意見を聞き取り運営に反映させていく予定です。	職員間での評価表や個人面談が備わり、「働きやすさ」「居心地のよさ」への配慮が視えます。そのようなことがバックボーンとなり、リーダー会議やユニット会議にも活発な意見が挙がっていて、運営に反映させています	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に勤務状況を把握し対応しています。又、他者評価を用いて個々人のモチベーションの向上に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得等の援助及びユニット会議等で年間教育計画に沿って職員教育に取り組んでいます。個別面接を通して個々の希望にも配慮していますが、資格取得以外の外部教育の機会に乏しいと思います。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修及び地域グループホーム協議会を通じて勉強の機会やコミュニケーションを図り、サービス向上の取り組みを行っていましたが、現在はコロナの感染対策の為行われていません。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	基本情報、家族の間診票、アセスメントシートを生かし本人との信頼関係を築くよう努力しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント作成時 要望等を聞き取ると同時に出来る事できないことも含め十分な説明を行い信頼関係の構築の努力をしている。毎月担当者から家族に手紙を書いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを生かし対応を図る。その後はケアプラン説明を事前に電話で行う事により、意向や希望を伺いながら 様子の変化も常に報告相談できる様に心掛けています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ケアプランを活かし利用者様の意向に沿った介護ができるよう考慮しています。ユニット会議に於いて情報の共有を図っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプランを活かし家族と問題点を共有して、お互いに協力しながら支援できるよう考慮しています。様子の変化には常に報告連絡を行うようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に家族の間診票をもって、なじみの情報を聴きます。その後は、ケアプランを活かし、ご家族も協力して頂きながら考慮していきたいと思えます。	入居時にアセスメントとともにリクエストを聴き取っていて、出来る範囲で継続しています。本が好き人人には定期的にブックオフに誘い、友人との外食や家族との墓参には、他の利用者への気遣いも忘れず気持ちよく送り出しをしています	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の興味や関心に配慮しながら、席等を設定したり交流しやすい環境を工夫しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所した後も連絡を取り合っています。転所の場合はご様子を聞き支援できる情報があれば提供します。退所の場合 初盆にはお花を送らせて頂いています。		
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント及びケアプランには本人の希望や意向を汲み入れ、利用者中心のプランを作成しています。家族からの意向を聞き取り相談しています。	例えば、帰宅願望が収まらない利用者には、家族の協力を仰ぎ、仕事帰りに電話を入れてもらえるようお願いしています。さらに、週末には自宅に一度帰ることも支援しており、総じて本人の想いを大切にしています	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に基本情報・家族問診表、又聞き取りにより、把握できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の情報は介護記録の入力や日報により職員間で共有しユニット会議に於いて情報の共有をしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議等にて利用者の状態の把握や問題点を話し合い、各担当者により経過報告提出し介護計画に活かしています。	毎月のユニット会議で利用者の状態を確認、課題点があれば協議にあたっています。いつでも、職員の誰もがタブレットで介護計画を見ることが出来、モニタリングでは家族意見も仰いで修正が必要であれば取り入れています	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録より経過報告に記載し介護計画に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者本位、介護の基本に柔軟な対応をしていく様努力しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	登呂公園等地域の資源を活かし散歩をしたり、玄関先から外を眺めるだけでも和みます。買い物や外泊、外出制限を緩和し、また、登呂祭りへ参加をしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に訪問医は定めていますが、専門医が必要とされる方は、訪問医と連携を図り本人及び家族が納得が得られる様にしています。	在宅からのかかりつけ医師を継続している人は1名、家族が対応くださっています。月に2回、2名の医師が交替で担当する訪問診療には前述の利用者も受診しています。ほかにも訪問看護師が週一度来所しており、夜間も連絡がとれる体制がとられています	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護、Drとは情報共有も含め連携が図られています。利用者が適切に看護が受けられる様、体制は図られている。毎週金曜日9時から訪問看護を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問Drによって、医療機関と連携し、情報交換や相談に努めています。退院時の診療情報を訪問Drに提供し介護サマリーによって介護情報を提供しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化による指針を定め対応しています。	重度化した場合とともにその先にある終末期には、都度こまめに家族の意向確認をおこなっています。医師と看護師とのカンファレンスを経た方針を家族と共有することで、出来る範囲で家族の意向通りに対応することに勤め、泊まり込みにも快く応援しています	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDの設置をし、防災訓練時応急対応の訓練を実施しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災計画を定め年2回防災訓練を実施しています。一回は地震、もう一回は水害を想定しています。	防災訓練は年2回の法定を遵守、水害と地震からの火災を想定して取組み、水消火器を使用する訓練は業者に加わってもらっています。オール電化なことから電気が使えなくなることを懸念してガスコンロを備え、プロパンはガスエアコンで使用しているので常にあります	新入職員にはその日に避難経路や有事の対応を説明しておくことを期待します

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念を基に実践努力しています。	尊厳についての研修には職員全員が出席しています。日常では、利用者と職員の距離感(関係性)を適切に保つため、「さん」呼びを推奨するほか、同性介助にも出来る限り対応しています。また、個人情報に関わる書類は鍵付のロッカーに保管しています	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択肢の中から自己決定できるように利用者に対して声掛けに努める様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念を基に実践努力していますが、職員不足や利用者の重度化により希望に沿えない事もあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	声掛けをしながら利用者様に合った身だしなみを実践する様にしています。 家族に協力を頂きながら季節にあった衣類の購入支援をお願いしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様に出来ることをお願いしながら、職員が食事の準備を行い、献立も掲示し楽しみにして頂ける様に心掛けています。	食事は利用者の意見を聞きながら職員がメニューを考え、栄養バランスも考慮した手作り献立です。現在ミキサー食が3名、その他はきざみ、一口大、常食と様々対応しています。利用者には生活リハビリと励みの一環として、主に食器拭きを交替でお願いしています	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	家庭的な料理を基本として行っています。水分摂取量や食事量は介護記録にて管理していますが、栄養バランスやカロリー計算まではしていません。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実践しています。週に1回歯科受診出来るようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的な声掛けやトイレ誘導により、排泄の失敗が少なくなる様に努めています	事業所の方針として「なるべくトイレで排泄を」と心掛けています。失敗のないよう定期的声掛けとトイレ誘導とともに、立位の取れない場合は2人で介助しています。また便秘気味であれば腹部マッサージを促し、自然排便を促進しています	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防については水分摂取や運動に心がけ、特に利用者の体調を把握し、DrやNsと連携を図りながら、対応しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個浴にてゆっくり入って頂けるよう支援しています。入浴時間を定め対応していますが、特に本人の希望時間があれば優先し対応しています。	常には週2回の入浴を励行、自立の場合は希望があれば週3～4回は可能です。熱発などで入浴中止となっても清拭に変更して保清できており、帰宅願望の強い利用者が夕方入浴で不穏が治まった例もあり、柔軟な対応が叶っています	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	特に就寝時間は設定していません。利用者個々の生活習慣を尊重し休んで頂きます。但し眠りやすい環境づくりに配慮しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	夜勤者が配薬をする様になっていますので、すべての介護職員が薬の管理について把握しています。薬用法や変更は介護記録に記載し一括管理し情報共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事等を一緒にやりながら役割をお願いすることにより生きがいや喜びにつながる様に配慮しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	登呂公園の散歩は継続し、近くのスーパーへの買い物支援を行っています。またご家族による外出支援もお願いしています。	登呂公園が目前に在ることで散歩が盛んであり、年に何回かはドライブも計画、普段見ることのない景色を眺める日もあります。独歩であれば家族の支援での外出も実現され、近くのドラッグストアやスーパーマーケットには職員対応で順次買い物も楽しめています	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者に買い物意欲のある方は、近くのストアにて買い物支援を行っています。又お金を持っていないと不安な方には、ご家族と相談して金銭を所持してもらっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様からのラインのビデオ通話に対応しています。ご本人様が手紙を書きたい時は準備し、住所などの情報を提供します。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員が季節に応じた飾り付けを各フロアに行い、また清掃により衛生面とエアコンの一括管理により適切な温度に設定します。	開設から19年、老朽箇所は優先順位を考え、継続的に手を加えています。共用のスペースは換気はもちろん、温度管理にも定期的確認があり、職員による掲示物の展示はユニットそれぞれ雰囲気が見えて季節感もあり、長い廊下を歩けば目の保養にもなります	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	なるべくお話の出来る利用者様同士を同じテーブルにしたり廊下のソファでお話ができる様、環境作りに努めています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時にご家族と相談し馴染みのある空間造りに努めています。	自宅で使っていた筆筒やテーブル、ソファを置くことは、利用者の安寧に実っています。長い入居生活となれば、家族の写真や作品といった親しさの滲む物も増えていきます。また位牌を持ち込んだ人には、毎朝職員がお水を届け、これまでの習慣をフォローしています	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	残存能力に応じて居室トイレ等に誘導できるように表示を工夫しています。廊下やトイレ又は居室に必要な応じ手すりを設けています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274200639		
法人名	有限会社 エムサービス		
事業所名	グループホームやよい苑(2階)		
所在地	静岡県静岡市駿河区登呂4丁目27-29		
自己評価作成日	令和5年10月26日	評価結果市町村受理日	令和6年12月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_022_kanistrue&jirovoyocd=2274200639-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和5年11月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・登呂遺跡公園が目の前にあり、とても環境が良く、地域資源に非常に恵まれたグループホームです。
 ・職員教育に力を入れており、資格取得・研修などでスキルアップを図り、地域に貢献できるグループホームを目指しています。
 ・専門コンサルタントを立て、職員の意見収集、労働環境、税務の整備を行い事業所の安定を図っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念に沿った想いを共有する介護を実践するために、より多くの経験をもつ経験者を採用することに重きを置く事業所です。さらに資格取得・研修でスキルアップを図り、費用も事業所が負担する徹底ぶりです。そういったことが下支えとなり、例えば帰宅願望が収まらない利用者には家族の協力を仰ぎ、仕事帰りに電話を入れてもらい、週末には自宅に帰ることも実現していて、総じて本人の想いを大切にすることが叶っています。管理者は「事業所は家族からハトタッチしたわけではない。二人三脚だと思っている」との信念をもって、家族の協力や理解があつてこそケアサービスも充実するとの謙虚な姿勢に好感が沸きます

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社員証に記載しています。また施設玄関にて理念を掲示し共有を図っています。会議などでも理念の基本を話しています。ユニット会議の資料にも理念を記載し意識して貰える様にしています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	登呂公園の散歩が主ですが、運営会や登呂祭りを含めた地域との交流をしております。今年から登呂祭りも再開し市場も出しました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営会議を中心として情報発信をしています。民生委員・町内役員・地域包括等と意見交換を行い、認知症や介護の考え方や、やよい苑の現状を発信しました。登呂祭りでは利用者と一緒に果物を販売しました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議も7月より対面会議を再開し取り組みの報告や話し合いを行いました。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営会議を通して地域包括の方と連携をとる事により、市との連携を図っています。又、必要に応じて生活支援課、介護保健課、社会福祉協議会に相談や助言を頂く事があります。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止マニュアルを基本として身体拘束適正化委員会を実施し身体拘束の防止に努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の講習内容を職員に情報提供する事により、虐待防止徹底を図っています。個別面接等も行いながら、職員のメンタルケアを合わせて行います。(未実施)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護と成年後見人制度について、講習内容を職員に情報提供する事により教育しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約業務は、管理者及び事務長が対応し利用者の御家族にご理解・納得して頂けるように説明いたします。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成時及び運営会での意見やアンケートを、運営会や各ユニット会議に反映させていましたが、現在全体運営会は、中止となっています。またコロナの感染対策の為、電話やメールでご家族の意見やお気持ちを聞ける機会を作っています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会議やユニット会議で職員の意見や提案を聞き運営に反映させています。その他個別面談に於いて、意見を聞き取り運営に反映させていく予定です。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に勤務状況を把握し対応しています。又、他者評価を用いて個々人のモチベーションの向上に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得等の援助及びユニット会議等で年間教育計画に沿って職員教育に取り組んでいます。個別面接を通して個々の希望にも配慮していますが、資格取得以外の外部教育の機会に乏しいと思います。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修及び地域グループホーム協議会を通じて勉強の機会やコミュニケーションを図り、サービス向上の取り組みを行っていましたが、現在はコロナの感染対策の為行われていません。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	基本情報、家族の間診票、アセスメントシートを生かし本人との信頼関係を築くよう努力しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント作成時 要望等を聞き取ると同時に出来る事できないことも含め十分な説明を行い信頼関係の構築の努力をしている。毎月担当者から家族に手紙を書いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを生かし対応を図る。その後はケアプラン説明を事前に電話で行う事により、意向や希望を伺いながら 様子の変化も常に報告相談できる様に心掛けています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ケアプランを活かし利用者様の意向に沿った介護ができるよう考慮しています。ユニット会議に於いて情報の共有を図っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプランを活かし家族と問題点を共有して、お互いに協力しながら支援できるよう考慮しています。様子の変化には常に報告連絡を行うようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に家族の間診票をもって、なじみの情報を聴きます。その後は、ケアプランを活かし、ご家族も協力して頂きながら考慮していきたいと思えます。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の興味や関心に配慮しながら、席等を設定したり交流しやすい環境を工夫しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所した後も連絡を取り合っています。 転所の場合はご様子を聞き支援できる情報があれば提供します。退所の場合 初盆にはお花を送らせて頂いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント及びケアプランには本人の希望や意向を汲み入れ、利用者中心のプランを作成しています。 家族からの意向を聞き取り相談しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に基本情報・家族問診表、又聞き取りにより、把握できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の情報は介護記録の入力や日報により職員間で共有しユニット会議に於いて情報の共有をしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議等にて利用者の状態の把握や問題点を話し合い、各担当者により経過報告提出し介護計画に活かしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録より経過報告に記載し介護計画に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者本位、介護の基本に柔軟な対応をしていく様努力しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	登呂公園等地域の資源を活かし散歩をしたり、玄関先から外を眺めるだけでも和みます。買い物や外泊、外出制限を緩和し、また、登呂祭りへ参加をしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に訪問医は定めていますが、専門医が必要とされる方は、訪問医と連携を図り本人及び家族が納得が得られる様にしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護、Drとは情報共有も含め連携が図られています。利用者が適切に看護が受けられる様、体制は図られている。毎週金曜日9時から訪問看護を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問Drによって、医療機関と連携し、情報交換や相談に努めて頂いています。退院時の診療情報を訪問Drに提供し介護サマリーによって介護情報を提供しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化による指針を定め対応しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDの設置をし、防災訓練時応急対応の訓練を実施しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災計画を定め年2回防災訓練を実施しています。一回は地震、もう一回は水害を想定しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念を基に実践努力しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択肢の中から自己決定できるように利用者に対して声掛けに努める様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念を基に実践努力していますが、職員不足や利用者の重度化により希望に沿えない事もあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	声掛けをしながら利用者様に合った身だしなみを実践する様にしています。 家族に協力を頂きながら季節にあった衣類の購入支援をお願いしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様に出来ることをお願いしながら、職員が食事の準備を行い、献立も掲示し楽しみにして頂ける様に心掛けています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	家庭的な料理を基本として行っています。水分摂取量や食事量は介護記録にて管理していますが、栄養バランスやカロリー計算まではしていません。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実践しています。週に1回歯科受診出来るようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的な声掛けやトイレ誘導により、排泄の失敗が少なくなる様に努めています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防については水分摂取や運動に心がけ、特に利用者の体調を把握し、DrやNsと連携を図りながら、対応しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個浴にてゆっくり入って頂けるよう支援しています。入浴時間を定め対応していますが、特に本人の希望時間があれば優先し対応しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	特に就寝時間は設定していません。利用者個々の生活習慣を尊重し休んで頂きます。但し眠りやすい環境づくりに配慮しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	夜勤者が配薬をする様になっていますので、すべての介護職員が薬の管理について把握しています。薬用法や変更は介護記録に記載し一括管理し情報共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事等を一緒にやりながら役割をお願いすることにより生きがいや喜びにつながる様に配慮しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	登呂公園の散歩は継続し、近くのスーパーへの買い物支援を行っています。またご家族による外出支援もお願いしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者に買い物意欲のある方は、近くのストアにて買い物支援を行っています。又お金を持っていないと不安な方には、ご家族と相談して金銭を所持してもらっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様からのラインのビデオ通話に対応しています。ご本人様が手紙を書きたい時は準備し、住所などの情報を提供します。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員が季節に応じた飾り付けを各フロアに行い、また清掃により衛生面とエアコンの一括管理により適切な温度に設定します。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	なるべくお話の出来る利用者様同士を同じテーブルにしたり廊下のソファでお話ができる様、環境作りに努めています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時にご家族と相談し馴染みのある空間造りに努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	残存能力に応じて居室トイレ等に誘導できるように表示を工夫しています。廊下やトイレ又は居室に必要な応じ手すりを設けています。		